

2026 年 8 月 7 日

各 位

「WOWOO エコシステム」における
記録公開サイト「Burn Chronicle」の公開に関するお知らせ

当社は、2026 年 7 月 15 日付適時開示「[Web3.0 事業における新構想『WOWOO エコシステム』の公表に関するお知らせ](#)」で公表した構想の実装として、エコシステム内の記録を第三者が検証できる形で公開するサイト「Burn Chronicle（バーンクロニクル）」を 2026 年 8 月 6 日に公開いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

abc株式会社

記念公開サイト

「Burn Chronicle」

公開のお知らせ

Optimism上のリアルタイム記録を直接読み取り
第三者検証を可能にする「WOWOOエコシステム」の可視化装置

1. 概要

「Burn Chronicle」は、「WOWOO エコシステム」において、感謝・誓い・広告等の善意のもとづく行為が行われた記録を、誰でも検証できる形で公開するサイトです。

本サイトが表示する数値は、当社の申告値ではなく、パブリックブロックチェーン（Optimism）上に記録された実データを直接読み取ったものであり、閲覧者は同サイトに掲載された参照先から、当社を経由せずに同一の記録を確認することができます。

2. 背景および目的

当社グループは、「WOW00 エコシステム」において、善意にもとづく行為が行われたことを記録として残す設計を採用しております。

こうした設計を対外的に説明するにあたっては、その記録が第三者により検証可能であることが不可欠であると考えております。本サイトは、当社の説明を利用者・株主・投資家の皆様が自ら確認できる環境を整えることを目的として公開するものです。

あわせて、当該記録を扱う仕組み（ChronoBurn）について、Optimism メインネット上で稼働を開始しております。なお本仕組みは社内エンジニアによる監査を経たものであり、第三者機関による監査は受けておりません。

3. 本サイトの内容

名称	Burn Chronicle
URL	https://burnchronicle.jp
公開日	2026 年 8 月 6 日
運営	当社（Wowoo Pte.Ltd. より「WOW00」ブランド等のライセンス供与により参画）
掲載内容	対象トークンの残存量およびバーン量・関連コントラクトの参照先・記録の仕組みの説明
データ取得元	Optimism（パブリックブロックチェーン）からの直接読み取り
提供機能	閲覧および検証のみ。金銭・暗号資産の授受を伴う機能（送金・課金・購入導線）は実装しておりません

なお、本サイトにおける「バーン」とは、誰も秘密鍵を保有しないアドレス（0x…dEaD）への送付を指し、送付されたトークンは事実上移転不能となります。当該送付の方式では、発行総量（totalSupply）の数値は変動いたしません。なお、WWB のスマートコントラクトには発行者権限に基づく焼却機能が存在し、当該権限は当社ではなく第三者が保有しております。

4. 今後の展開

本エコシステムは、各プロダクトにおける善意にもとづく行為の積み上がりが、WWB のバーンに接続される設計としております。2026 年 7 月 30 日付「[『THANKS Map』（善意の位置情報サービス）の試験提供開始に関するお知らせ](#)」にて既報のとおり試験提供を開始している「THANKS Map」における投稿の増加もその一つであり、本サイトは、それらの記録を集約して可視化する装置として位置づけております。当該接続は順次実装を進めており、現時点では記録は開始されております（本サイトはその旨を表示いたします）。

なお、2026 年 7 月 15 日付開示において公表した段階的リリースのうち、第 1 号プロダクト「THANKS Bank」の実証導入は、加盟店向け機能の開発および法務レビューの完了を待って実施する予定であり、現時点では開始しておりません。

本サイトは、「WOWOO エコシステム」の各プロダクトの稼働に伴い、記録が順次追加されていく設計としております。

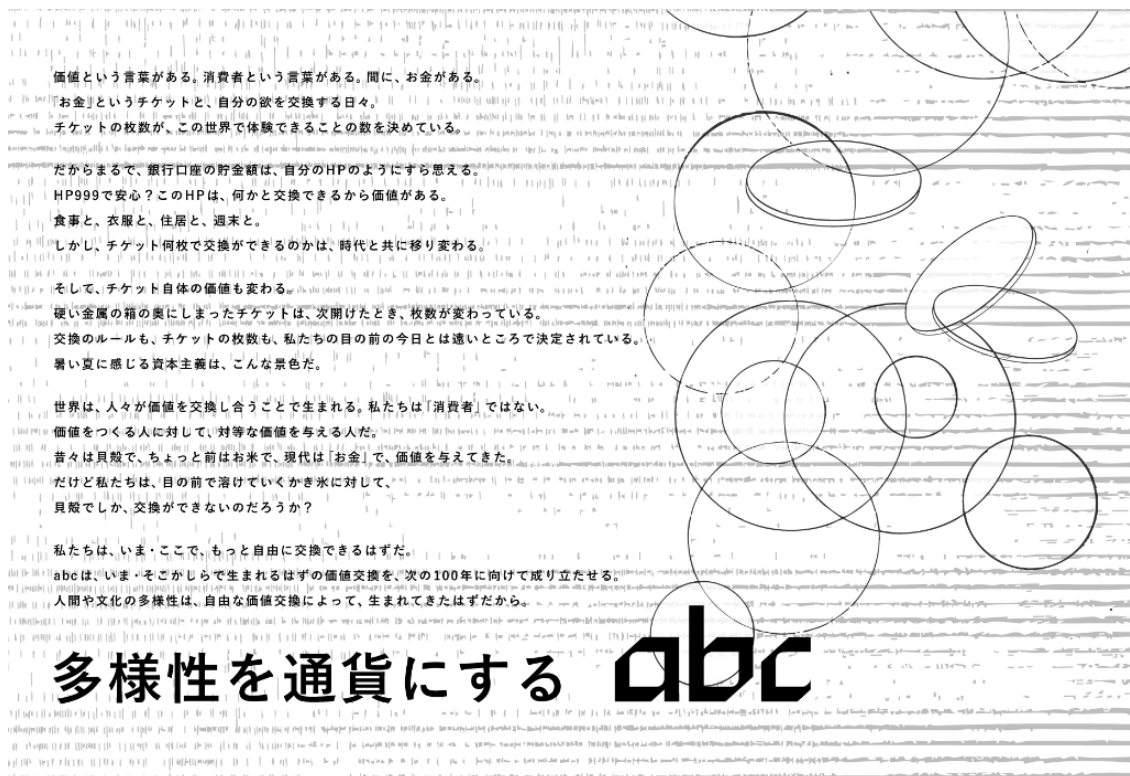
当社グループは、引き続き法務レビュー・監査等の準備が整ったものから、短いサイクルで段階的にプロダクトのリリースを進めてまいります。開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本サイトおよび本リリースは、本エコシステムで用いられるトークン（WOWBIT／WWB。その発行および管理は Wowoo Pte.Ltd. 側が担っており、当社は発行者ではありません）の価格・時価総額・需給の見通しについて、一切の示唆を行うものではありません。当社は事業の目的にトークンの価格を置いておらず、収益は法定通貨によるキャッシュフローを柱とする方針です。また、本サイトに記録される事象は、いずれもトークンの価格または将来価値を約束するものではありません。

※本資料に記載された計画・見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断であり、既知・未知のリスクおよび不確実性を含みます。実際の結果は、経済環境・法務レビュー・監査・規制の状況等さまざまな要因により、記載内容と異なる可能性があります。

※ 本リリースは投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断と責任においてお願いいたします。



■ abc 株式会社について <https://abc-chain.com/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上